

2024 年 第 2 回 VLBI 懇談会役員会 議事録

作成: 2024 年 4 月 11 日(木) 佐野栄俊 (岐阜大学)

本議事録は、2024 年 4 月 11 日(木)の 2024 年第 2 回 VLBI 懇談会役員会の開催前に配布した会議資料に、議論の内容を赤字で追記し、議事録として確定したものです。

1. 本会の開催日時 2024 年 4 月 11 日(木) 16:00-

2. 開催形式 Zoom によるオンライン開催

3. 参加者確認

出席: 佐野, 赤堀, 藤澤, 米倉, 中川, 本田, 三澤, 土居, 小山, 岳藤, 関戸, 小川, 石垣, 小林, 青山, 寺家

欠席: 新沼, 大木, 今井

4. 議題

(ア) コミュニティツールについて

VLBI 懇談会にコミュニティツールを求める声が、主に学生会員から挙がっている。
現在は Slack が運用されているが無料版かつ期限付き。設定には予算も関連。

→ 大木さんに（修士論文が落ち着いた後に）学生会員の意見を取りまとめてもらい、一般会員については新沼さんに意見聴取をお願いすることになった。そのほか役員の皆さんからも、次回の役員会の際までに、意見などをいただききたい。

以下、新沼さんからのメール [2024/04/11/15:43]

=====

・ slack について

- 教育機関割引(85%オフ)のほか、NPO などの非営利団体向けにも割引(85%オフ)がある

→ 前者なら学長や部局長の承認（証明?）が必要、後者なら非営利等団体であることの証明が必要

- 学会のような学術団体の利用で例えば後者の割引で利用している事例は見つけられていない

- 割引が可能だったとして、100 人程度で 17 万円/年（ということで slack の利

用は現実的ではないか？)

- ・ discode について

- 無料ということで、学内（研究室の連絡用）で試しに使おうとしたところ、学内のネットワーク

- セキュリティの問題（と思う）で各種機能が利用ができなかったため、使い勝手は分からない

- 学生コミュニティではよく使われていると伺っている

=====

(イ) 集録の紙版の必要性について

これまでの総会でも何度か話題になっているが、次回の総会までに、継続かやめるかについて、役員で検討する必要があるのでは。会費のあり方・使い道とも密接に関係している。現在は会費の大半（10万円）を集録作成費として使用している。

→ 次回の役員会時に、集録の紙版の継続有無について、メリット・デメリットなどを話し合うことで合意。ご意見など事務局長まで送っていただき、佐野が資料として取りまとめる。

紙版継続派の意見

- 視認性・利便性

- 全体像を把握しやすく、必要な情報にすぐアクセスできる [米倉、佐野、赤堀]
PDF版のみだと探す手間がかかる。

- 表紙や製本された形式が重要 [赤堀]。

- 業界への貢献：紙版があることで色々な人に渡すことができ、VLBI業界の発展にもつながるのではないか。[佐野]

紙版廃止派の意見

- コストの問題

- ・ 現状、印刷費用が会費の半分を占めているため、費用対効果を再検討する必要がある [中川、小林]

- ・ 少部数では単価が高くなる。

- 若年層の需要の低下

- ・ 若い研究者ほど紙版を必要としない傾向

中立的アイデア、そのほか検討事項など

- 希望者のみ別料金で提供する [米倉、赤堀]
- 印刷版の希望者人数やコストの試算が必要 [小林、中川]。
- 会費をゼロにし、参加費として集録作成費を補うモデルはどうか[小林]。
- 会費ゼロにする場合は、参加費をどのくらいとるのが良いかなど（会場費によって変動する[中川]。
- V 懇経費の中で、集録以外はどのくらいの経費があるのか確認が必要。
 - ・ 以前は学生会員が役員会に対面で参加する費用があった [米倉]。
 - ・ コロナ以降は対面は行っていないので今は必要ない [小林]。
 - ・ 学生の表彰代に使用している [中川]
- 宇電懇の会費が無料なのに対し、V 懇は有料であることで帰属意識、参加者であることの認識の向上に繋がっている[米倉]
- 総会では集録そのものの存続は共有認識としてあるが、紙版の継続は議論が必要 [小林]

(ウ) VLBI 懇談会シンポジウム 2024 の SOC Chair について

- 候補者推薦
 - ・ 村瀬さん（岐阜大学）を推薦 [佐野]
- LOC, SOC が同大学になるが大丈夫か？[小林]
- SOC Chair の選出について
 - ・ SOC chair は役員から選出されることが多かったが、外部に依頼した例もある。例として元木さんを選出した際には必要にのみ役員会に出席していた [中川]
 - ・ 村瀬さんが SOC Chair となる場合も同様の対応になる。
- テーマの決定方法
 - ・ 案を作成した段階で役員会で審議する流れであれば問題ない[米倉]
 - ・ 役員会で審議し、コメントしブラッシュアップさせる。
- 投票の結果: 村瀬さんの SOC Chair 就任案は賛成多数で承認。

(エ) VLBI 懇談会役員の交代について [本田]

国土地理院 本田昌樹さんの異動に伴い、後任を、石垣真史さん (ishigaki-m96bd@mlit.go.jp) としたい。役員会で承認いただければ幸いです。

- 上記、VLBI 懇談会役員の交代は役員会で承認された。
- 石垣さんは VLBI のグループに所属して約 3 年の経験があり、今後も引き続き協力をお願いしたい。
- JAXA としても石垣さんとのコンタクトを進める予定 [岳藤]

5. 報告事項

(オ) 会長職の継続について

- 小林さん
 - ・ 現在、会長として2期目を務めている。
 - ・ 3月に NAOJ を退職し、7月から上海に赴任予定。
 - ・ VLBI 懇談会シンポジウムには引き続き参加するが、この状況で会長を続けるべきか審議いただきたい。
- 藤沢さん
 - ・ 川口さんが以前、同様に上海赴任中でも会長を継続した例があるため、問題ないと判断。
 - ・ 中国で Google が使用できないため、サポートを検討。

→ 全会一致で小林さんに会長継続を依頼したい。

(カ) タスクフォースについて

- 赤堀さん
 - ・ タスクフォースを準備中。議事録には URL を記載しない。
 - ・ 役員会の承認が必要かを確認。
- 小林さん
 - ・ 総会でタスクフォース設立の提案があり、役員会で承認する形とする。
- 藤沢さん
 - ・ 会長の承認があれば、タスクフォースは進めて良い。
- 米倉さん
 - ・ 総会で必要と認められた場合には WG を置く規定があるため、タスクフォースとして問題ない。
 - ・ 総会開催時期は例年通りを予定。
- 赤堀さん
 - ・ タスクフォースが重要な局面で役員会に伺うべきかを確認。
 - ・ 若手向けの情報提供を早めに進めたい。
- 小林さん
 - ・ タスクフォースの意思決定は基本的にタスクフォース内で行い、必要に応じて役員会に報告する。
 - ・ 規則は特に定めていないため、事務局判断で進行可能。

以上